

日本混相流学会 2009 年度第 2 回理事会・議事録

日時： 2009 年 10 月 10 日（土） 13:00-17:00

場所： 名古屋大学 大学院情報科学研究科 第 3 講義室（名古屋市千種区不老町）

出席者：社河内会長、三島筆頭副会長、齋藤副会長、道奥情報部会長、土屋国際部会長、辻本総務部会長、奈良林直理事、高橋理事、岡本理事

オブザーバー：佐田富論文審査委員長、事務局

議題と配布資料：

1. 前回議事録の確認 [資料 2009-2-01]
2. 各種委員会委員名簿の確認 [資料 2009-2-02]
3. 地区代表と監事候補の選出 [資料 2009-2-03]
4. 情報部会活動報告 [資料 2009-2-04]
5. 企画部会関連報告
 - ・混相流レクチャーシリーズ 35 [資料 2009-2-05]
 - ・第 1 回ナノバブル・マイクロバブル技術講習会 [資料 2009-2-06]
 - ・研究企画委員会 [資料 2009-2-07]
 - ・学生会、学生優秀講演賞他 [資料 2009-2-08]
6. 総務部会報告
 - ・混相流学会表彰規定について [資料 2009-2-09]
 - ・学会賞について（募集、表彰状） [資料 2009-2-10]
 - ・科学研究費補助金「時限付き分科細目表」について [資料 2009-2-11]
 - ・分科会委員の委嘱状について
 - ・休会の規定について [資料 2009-2-12]
7. 国際部会報告 [資料 2009-2-22*]
(* 追加資料)
8. 論文審査委員会報告 [資料 2009-2-13]
9. 2009 年会講演会・混相流シンポジウム会計報告 [資料 2009-2-14]
10. 年会講演会・混相流シンポジウム実行委員会報告 [資料 2009-2-15]
11. その他
 - ・ICMF2010 について [資料 2009-2-16]
 - ・2011 年会講演会開催地について [資料 2009-2-17]
 - ・日本工学会創立 130 周年記念事業の原稿について [資料 2009-2-18]
 - ・英文 Web Journal について [資料 2009-2-19]
 - ・新財務諸表について [資料 2009-2-20]
 - ・名簿の配布について [資料 2009-2-21]
 - ・インパクトファクターについて
 - ・来年度 OMF について
 - ・次回理事会の日程について

議事：

1. 前回議事録の確認

資料 2009-2-01 に基づき、辻本総務委員長から 2009 年度第 1 回議事録の確認があり、議事録として承認した。

2. 各種委員会委員名簿の確認

資料 2009-2-02 に基づき、辻本総務委員長から各種委員会の委員名簿の確認があり、各種員について承認した。

3. 地区代表と監事候補の選出

- ・資料 2009-2-03 に基づき、辻本総務委員長から選出された地区代表の説明があり、地区代表について承認した。
- ・新たな交代監事 1 名については、三島筆頭副会長が引き続き調整を担当することとした。

4. 情報部会関連報告

資料 2009-2-04 に基づき、道奥情報部会長より論文投稿状況、ICeM News Letter の編集に関する案件、J-Stage 登録担当員の紹介、企業広告の（無料）掲載に関する案件、年会講演会の Keynote Lecture の総説・解説への執筆依頼、9、12、3 月号の発刊、編集状況の報告があった。

（審議事項）

- ・特に混相流研究の進展 vol. 4 ならびに混相流 2009 年度 No. 1 以降が Jstage で未掲載のままである。本件について早急に対応いただくよう事務局へお願いがあった。
- ・論文精選集が通常号の第 5 号として扱われることに関し、第 5 号の価格について審議した結果、「通常号の単体価格と同じく、第 5 号についても 2,500 円の価格とする。ただし、通常号 1-4 号と合わせて 1-5 号のセットの価格は 10,000 円とする。」ことを承認した。

5. 企画部会関連報告

竹村企画部会長の代理で辻本総務委員長より以下の報告とお願いがあった。

・混相流レクチャーシリーズ 35

資料 2009-2-05 により企画内容が報告され、承認された。現状、参加人数が少数であることから、田中（阪大）運営委員長からの理事への参加協力の要請があることも報告された。

・第 1 回ナノバブル・マイクロバブル技術講習会

寺坂幹事作成の実施報告書[資料 2009-2-06]が報告され、承認した。申し送り事項として今後、関西、関東の両地区において交代で実施したいとの意見が上げられた。

・研究企画委員会

小泉委員長の取り纏めによる 2009 年会の OS、GS の報告書[資料 2009-2-07]（9 月号に掲載済み）につき報告があった。

・学生会、学生優秀講演賞他

末包理事の代理で辻本総務委員長より学生会活動状況[資料 2009-2-08]の報告があった。学生優秀講演賞の対象者 19 名が示され、理事会で承認した。

6. 総務部会報告

・混相流学会表彰規定について[資料 2009-2-09]

理事会で審議した結果、

(a) メール審議（8/26）で変更した第 2 条(2)項については、文書中「会員」→「本会会員」

(b) 第 2 条中の年限についてはそれぞれ 原則として追記することとした。

第 2 条(3)項中 「5 年以内」→「原則として 5 年以内」

第 2 条(4)項中 「7 年以内」→「原則として 7 年以内」

第 2 条(5)項中 「3 年以内」→「原則として 3 年以内」

・学会賞について（募集、表彰状）[資料 2009-2-10]

(a) 応募が少数の場合、表彰委員会から積極的に募集を図ることを、三島委員長へお願いした。

(b) 学会賞に対する要望

受賞者の要望を受け、次回の学会賞の受賞において

「現状の盾（表彰状と副賞が一体化したもの）1個＋表彰状×受賞者数を授与し、盾については従来どおり追加の希望数があれば、実費（1個1万6千円）の負担をいただき授与する。」ことを承認した。

- ・科学研究費補助金「時限付き分科細目表」について
日本学術会議より時限付き分科細目表[資料 2009-2-11]の提案依頼があった。理事会では、「ナノ・マイクロバブル」が細目案として最適であるとの判断をし、その原案作成を竹村理事に依頼することを承認した。
 - ・分科会委員の委嘱状について
分科会委員の委嘱状について審議した結果、要望のある委員について学会事務局より委嘱状を発行することを承認した。委員からの要望の有無については小泉研究企画委員長から各委員に照会いただき、取り纏めいただくことを承認した。
 - ・休会の規定について
会員からの要望により休会制度を整えることになっているがこれに関する規定について、辻本総務委員長より説明があった（資料 2009-2-12）。審議の結果「会員資格異動に関する内規」として後日はメール審議することとした。
7. 国際部会報告
資料 2009-2-22 に基づき、土屋国際部会長より事業計画について簡単な紹介があった。
8. 論文審査委員会報告
資料 2009-2-13 に基づき、佐田富論文審査委員長より論文精選集への推薦、混相流の総説への投稿依頼状況の説明があり、精選集へ20件の投稿予定があることの報告があった。また年会講演会の座長等推薦による「混相流」への論文投稿について、現状8件の投稿予定があることの報告があった。
9. 年会講演会・混相流シンポジウム実行委員会報告
資料 2009-2-14 に基づき、2008 年会講演会・混相流シンポジウム実行委員長、佐田富先生より収支決算報告があり、理事会として決算につき承認した。当初予算案を上回る収入および支出についても予算案を下回る決算結果であったことの報告があった。
10. 年会講演会・混相流シンポジウム実行委員会報告
資料 2009-2-15 に基づき、年会講演会・混相流シンポジウム実行委員長、齋藤先生より2010 年会講演会ならびに第29 回混相流シンポジウム準備状況について報告があった。実行委員、担当その他詳細についても十分検討されており、その内容について承認した。講演会の参加費については一般の非会員の参加費は（事前）12,000 円、（当日）15,000 とし、当日、学会に入会した場合でも会員として扱われることを募集要項に追記することとした。特に混相流シンポジウムの学術会議への共催手続きについては社河内会長から矢部前会長へ照会いただき、滞りなくおすすめていただくようお願いがあった。
11. その他
- ・ICMF2010 について
社河内会長より ICMF2010 での混相流学会が未共催であったこと、組織委員関連へ学会から委員が未選出であったこと、学会誌で未会告であったこと、この事態に対し萩原 ICMF 運営委員長に事態の收拾を依頼した結果、すべてが解決されたことの報告があった。これに関連し12 月号の会告[資料 2009-2-16]の掲載を承認した。今後も起こり得る事態でもあり次回理事会（3 月予定）に ICMF のサポート体制につき整備することを審議することとした。
 - ・2011 年会講演会開催地について
資料 2009-2-17 に基づき辻本総務委員長よりこれまでの開催状況について説明があった。審議の結果、2011 年会講演会は関西地区が担当することとした。開催地、実行委員長の選出については功刀副会長、道奥理事、土屋理事の3 名でご協議いただき、次回理事会（3 月予定）までに案を作成いただくこととした。また、これに合わせ2012 年度は関東地区の担当となり、岡本理事が開催を引き受けられる

ことを承認した。

- 日本工学会創立 130 周年記念事業の原稿について
資料 2009-2-18 に基づき、竹村理事の代理で辻本総務委員長より日本工学会からの資料修正に関する要望について説明があった。審議した結果、竹村理事に修正を依頼をすることとした。
- 英文 Web Journal について
資料 2009-2-19 に基づき、岡本理事より英文誌発行に関する、手法、論文収集、予算、体制、課題について説明があった。次回理事会（3 月予定）までに体制ならびに運用についてさらに検討を進めていただくこととなった。これに合わせ、編集委員会の下に英文ジャーナル WG（仮名）を設置すること、英文ジャーナル担当委員（仮名）、などについて、12 月の編集委員会においてご審議いただくことをお願いした。
- 新財務諸表について
資料 2009-2-20 に基づき、近藤事務局長より新財務諸表の原案が示された。詳細については矢部前会長と相談の上、具体的な対応について協議いただくことになった。12 月に新財務表に基づく本年度の予算案の修正版を掲載する予定であったが、3 月号以降へずれ込むことになることを承認した。
- 名簿の配布について
近藤事務局長より、最新の名簿が 10 月末には完成予定で、理事等に配布する予定であることの報告があった。（理事等、退任後は事務局へ返却）
- 会員の入退会等について
資料 2009-2-21 に基づき、近藤事務局長より入会者と退会希望者、別添資料で会費未納者について報告があった。入退会者については理事会で承認するが、退会希望者については慰留に努め、会費未納者には支払いの催促を引き続き行うことを確認した。
- インパクトファクターについて
近藤事務局長より説明会に参加したことの報告があった。
- 来年度 OMF について
奈良林 OMF 担当理事より来年度の計画について報告があった。
実施日：2010 年 11 月 6 日、7 日
場 所：札幌・定山溪
準備金として 20 万円が用意される。これまで学会への準備金の返金は暗黙の了解事項として行われていたが、必ずしも返金の必要はないことを承認した。また若手ばかりでなく理事からも参加いただくようお願いがあった。
- 次回理事会の日程について
第 3 回：平成 22 年 3 月 6 日（土）13:00-17:00（大阪） 会場未定

以上

総務委員長：辻本公一